●エッセイ

『ポーの一族』について

宮部みゆき

創作という仕事について語られるとき、しばしば「無から有を生み出す」という言い回しが使われます。美しい表現ですし、「物語」という、形も色も千変万化するものの由来を表すのにはいい言葉かもしれません。ただ、これはまったくの間違いでこそないものの、一〇〇パーセントの真実でもないと、わたしは思っています。

多くの作家は、自分の手で自分の物語を語り出すはるか以前に、絶対と言っていいほどの高い確率で、心を震わせ大きな感動を与えてくれる先達の手になる物語に遭遇し、そこを出発点としているものです。ちょっとアクロバティックな言い方をするならば、Aという作家の原点は、作家Aの処女作ではなく、作家Aをしてその処女作を書かせるエモーションを生み出させた先達の作品のなかにあるのです（念のために申し添えておきますが、これはもちろん、「盗用」とか「盗作」とか「模倣」というレベルの話ではまったくありません）。

これらの「後続の創作家を生み出すエネルギーに満ちた先達の作品」（ちょっと長い呼び

名ですが）は、文字通り千差万別です。その創作家が後年手がけることになる作品とは異なるジャンルに属するものであることも珍しくはありません。映像作家に強い影響を受けた人が映像的な作品を書く小説家になったり、音楽にエモーションを感じた人が画家になったりすることだってあるのです。これが人間の面白いところですね。

本書『ポーの一族』の生みの親である萩尾望都さんは、これまでの創作活動のなかで、そうした後続の創作家を刺激するエネルギーに満ちたあまたの作品を世に送り出してこられました。さらに萩尾さんの凄いところは、一度読んだら忘れられないたくさんの作品を生み出し、多くの後続の作家のエネルギー源として、尊敬と憧れを以て語られる創作家でありながら、疲れを知らず退屈もなく、ずっとずっとトップランナー、一等星の作家でありつづけておられるということです。これは凡百の書き手にできることではなく、わたしなどは正直に脱帽して、皆さん、天才とはこういう方のことを指すのですよと申し上げるしかありません。

トム・クルーズ主演で映画化され、日本でも話題になったアン・ライスの『インタビュー・ウイズ・ヴァンパイア』という作品について見聞きしたとき、「なぁんだ、アメリカじゃ今ごろそんなものが書かれてるのか。日本には『ポーの一族』があるもんね」という感想を抱かれた方は、大勢いたのではありませんか？　わたしなど人が悪いので、アン・ライスは『ポーの一族』を読んであの作品を書いたんじゃないかと横目で睨(にら)んでおりました。

ホントのところ、どうなんでしょうね。
永劫の時を放浪し続けるヴァンパイアという存在に真正面から光をあて、「死の存在しないところに本当の生はあるのか」というもの悲しい問いを発しながら織り上げられる『ポーの一族』の物語は、ヴァンパイア・ストーリーの本場であるはずの欧米の諸作品を遙かに飛び越して、もはや古典と言っていい高みにまで到達しています。わたしは常々、極東の小国ニッポンは、ただ金持ちなだけじゃないぞ、小型車を作るのが得意なだけじゃないぞ、マンガという素晴らしい文化を生み、そこには凄い創作家がいっぱいいるんだぞと、我が国のマスコミがもっともっと声を大にして海外に向けて宣伝するべきだと思っているのですよ。もちろんわたしたち一人ひとりも、うんと胸を張って、大いに誇りにしたいですよね。
世界中の多感な年頃の少年少女たちに萩尾さんの作品を読ませてあげたい、読めばきっと、心のなかのある特別な窓が開かれて、その窓から差し込む光が、その後のあなたの人生を照らしてくれるからねと伝えたい——そんなふうに思いつつ、今回あらためて『ポーの一族』のページをめくりました。わたしが初めて読んだときに出会ったエドガーは、わたしのなかのどんな窓を開けてくれたのかな、なんてことも考えながら。皆さんは、いかがでしょうか？

宮部みゆき

一九六〇年一二月二三日、東京生まれ。作家。速記業・法律事務所勤務の傍ら小説を書き始め、八七年『我らが隣人の犯罪』でオール讀物推理小説新人賞を受賞。以降、『本所深川ふしぎ草紙』（吉川英治文学新人賞）、『龍は眠る』（日本推理作家協会賞）、『火車』（山本周五郎賞）、『蒲生邸事件』（日本SF大賞）などの傑作をつぎつぎと発表。最新刊は『天狗風』『理由』など。

小学館文庫

ポーの一族 2

1998年8月10日初版第1刷発行（検印廃止）
2002年4月1日　　第6刷発行

著　者 ——————— 萩尾望都

発行者 ——————— 辻本吉昭

印刷所 ——————— 図書印刷株式会社

発行所 ——————— 株式会社　小学館
101-8001　東京都千代田区一ツ橋 2-3-1
振替（00180-1-200）
TEL　販売 03-3230-5749
　　　編集 03-3230-5456

ISBN 4-09-191252-4